

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 7 月 23 日 (2015.7.23)

【公開番号】特開 2014-9178 (P2014-9178A)

【公開日】平成 26 年 1 月 20 日 (2014.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2014-003

【出願番号】特願 2012-145602 (P2012-145602)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/96 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 Q 1/12 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/96

A 6 1 Q 1/02

A 6 1 Q 1/12

A 6 1 Q 17/04

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 4 日 (2015.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸湿発熱性能を有し、長さが $1\ \mu\text{m} \sim 1000\ \mu\text{m}$ である繊維を含有することを特徴とする化粧料。

【請求項 2】

繊維の配合量が $0.1 \sim 10$ 重量%であることを特徴とする請求項 1 に記載の化粧料。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

< 実施例 12 ~ 16 >

実施例 2 の化粧料の吸湿発熱性能を有する繊維の配合量を表 2 に示した配合量に置き換え、その他は実施例 2 と同様にして水中油型乳化化粧料を得た。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 1 】

【表 2】

(表2)

	実施例12	実施例13	実施例14	実施例15	実施例16
繊維の配合量(重量%)	0.05	0.1	1	10	20

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 2 】

< 実施例 1 7 >

実施例 7 の化粧料の吸湿発熱性能を有する繊維を高架橋アクリル酸系吸湿発熱性繊維からシリカゲルを固着したポリエステル系吸湿発熱性繊維（太さ約 0 . 8 デニール、長さ約 3 0 0 μ m）に置き換え、その他は実施例 7 と同様にしてパウダーファンデーションを得た。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 3 】

< 実施例 1 8 >

実施例 7 の化粧料の球状シリカをセリサイトに置き換え、その他は実施例 7 と同様にしてパウダーファンデーションを得た。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 4 】

< 比較例 5 >

実施例 7 の化粧料の吸湿発熱性能を有する繊維をタルクに代えた他は実施例 7 と同様にしてパウダーファンデーションを得た。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 8 】

< 試験例 2 >

実施例 2、1 2 ~ 1 6 で得られた化粧料の使用性に対する官能試験を試験例 1 と同様の要領で実施した。評価基準も同様とした。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 9 】

表 4 に試験例 2 の結果を示した。

【表 4】

(表4)

	実施例2	実施例12	実施例13	実施例14	実施例15	実施例16
のびが軽い	○	◎	○	○	○	△
なじみが良い	○	○	◎	◎	◎	○
温感効果がある	◎	○	○	◎	◎	◎
なめらかな感触がある	◎	◎	○	◎	○	△

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 0 】

< 試験例 3 >

実施例 7、1 7、1 8 及び比較例 5 で得られた化粧料の使用性に対する官能試験を試験例 1 と同様の要領で実施した。評価基準も同様とした。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 1 】

表 5 に試験例 3 の結果を示した。

【表 5】

(表5)

	実施例7	実施例17	実施例18	比較例5
のびが軽い	○	○	◎	○
なじみが良い	◎	◎	◎	△
温感効果がある	◎	◎	◎	×
なめらかな感触がある	◎	○	○	△